

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	5 学生の受け入れ（研究科）《全学的な視点》	
中項目		
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。	
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針	
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。	
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性	
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応	
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。	
要素		

## II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各課程、専攻において、入学前に修得しておくべき知識等の内容・水準を明確にする。	→学生の受け入れ方針の策定	C	B			
2. 各研究科、課程、専攻において「求める学生像」を志願者に明示する。	→学生の受け入れ方針の入試要項等での公表	B	B			
3. 研究科(専攻)の特色を活かし、入試形態に応じた広報展開を行う。	→入試説明会の回数・参加者数、広報媒体の種類	C	C			
4. 入試動向に応じ選抜方法を定期的に検証し、適正な定員管理を行う。	→入試種別ごとの志願者数、合格者数、入学者数	C	C			
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし					
なし	→なし					



【司法研究科】		前期/後期課程	単位	2007	2008	2009	2010	2011	備考
指標1	入学定員	専門職学位課程	名	125	125	125	125	100	
指標2	志願者総数	専門職学位課程	人	1251	1133	658	449	302	
指標3	合格者数	専門職学位課程	人	278	239	274	192	194	
指標4	入学者数	専門職学位課程	人	146	85	135	81	90	
指標5	志願者倍率	専門職学位課程	倍	10.0	9.1	5.3	3.6	3.0	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	専門職学位課程	倍	1.08	1.00	1.00	0.92	0.90	入学者数÷入学定員
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	専門職学位課程	%	95.9%	89.4%	98.5%	93.8%	92.2%	一般入試入学者数÷入学者数
指標8	収容定員	専門職学位課程	名	375	375	375	375	350	
指標9	在籍学生数	専門職学位課程	人	326	287	300	280	249	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	専門職学位課程	%	86.9%	76.5%	80.0%	74.7%	71.1%	

【経営戦略研究科】		前期/後期課程	単位	2007	2008	2009	2010	2011	備考
指標1	入学定員	専門職学位課程	名	200	200	200	200	200	
		後期課程			4	4	4	4	
指標2	志願者総数	専門職学位課程	人	214	193	161	208	185	・5/1現在 ・秋学期入学は含めない
		後期課程			13	13	15	11	
指標3	合格者数	専門職学位課程	人	192	170	148	179	170	・5/1現在 ・秋学期入学は含めない
		後期課程			6	6	6	6	
指標4	入学者数	専門職学位課程	人	172	156	138	158	143	・5/1現在 ・秋学期入学は含めない
		後期課程			6	6	6	5	
指標5	志願者倍率	専門職学位課程	倍	1.1	1.0	0.8	1.0	0.9	志願者÷入学定員
		後期課程			3.3	3.3	3.8	2.8	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	専門職学位課程	倍	0.87	0.89	0.87	0.90	0.94	入学者数÷入学定員
		後期課程			—	—	—	—	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	専門職学位課程	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
指標8	収容定員	専門職学位課程	名	400	400	400	400	400	
		後期課程			4	8	12	12	
指標9	在籍学生数	専門職学位課程	人	386	382	350	370	355	
		後期課程			6	12	17	16	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	専門職学位課程	%	96.5%	95.5%	87.5%	92.5%	88.8%	
		後期課程			150.0%	150.0%	141.7%	133.3%	

(その他の指標データ)

入試形態別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数と割合【大学基礎データ】

地域別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数と割合

科目等履修者の入学者数

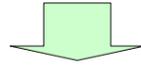
聴講生の入学者数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	各研究科の入試要項で適切に方針を明示している
小項目5.0.2	入学者選抜方式を各研究科毎に明示し、過去の問題も各研究の基準に基づき公表している。
★小項目5.0.3	学部長会に定員充足率を毎年、あげ全学的に共通認識をしている。
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

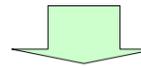
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	各研究科で行っている入試説明会を大学院全体で実施することを検討する。
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	大学院全体の説明会実施を大学院事務担当者会で検討する。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

##### 【学外委員】

○定員の適正管理をうたっているが、前期課程の平均が80.5%、後期課程で72.2%にとどまっており、定員を満たしている研究科は前期課程で13研究科中2研究科、後期課程で4研究科にしか過ぎない。それに対する各種施策の現状と課題を関連付けて記述してください。  
○広報施策の実施状況について、目標に掲げられている指標について具体的に記述してください。

##### 【学内委員】

○司法研究科で志願者が急減している状況、経営戦略研究科で志願者倍率が1を割りがちであるという状況など、定員管理上懸念される事態ではないでしょうか。

○定員の設定と在籍数の管理について、一層の努力が期待されます。

○情報の公表のページ ([http://www.kwansei.ac.jp/kikaku/kikaku\\_m\\_000144.html#4568](http://www.kwansei.ac.jp/kikaku/kikaku_m_000144.html#4568)) において、アドミッションポリシーの公表の項目はありますが学部だけで大学院のはありません。早急に公表が求められます。

○大学院の定員未充足の研究科が多く見られます。対応が求められます。

○大学基準協会は、小項目5.0.1については、「公的な刊行物、ホームページ等によって、学生の受け入れ方針を、受験生を含む社会一般に公表していること」としています。ホームページの記述が必要です。

○小項目5.0.3の現状説明において、「4月の学部長会に定員充足率を報告し、管理している。定員を満たしている研究科は前期課程で13研究科中2研究科、後期課程で4研究科」とあります。本学だけの傾向ではありませんが、充足率が十分ではありません。経年での傾向です。早急な対応が求められます。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

・アドミッション・ポリシーに関し今一度悉皆的にレベルが揃っているか、必要な情報がHP上に公表されているかの調査をお願いします。

・受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）はどのようなものとするのか、現在のもので十分なのか、絶えず検討・議論が必要でしょう。現在明示されていない「修得しておくべき知識等の内容・水準」など、検討課題があると考えられます。

・恒常的に定員未充足の研究科に対し、どのような方針で臨むのかの検討も必要ではと思われまます。

・自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことかわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。

・障がいのある学生の受け入れは、先駆的な関西学院として、重要な方針です。簡潔に方針を記述してください。

・目標の現状や達成状況について現状説明で触れてください。それぞれの小項目で説明が可能で、現状説明がより一層わかり易いものとなります。

・定員未充足への対応について、現状説明に記述があるのがよいと思います。

・特定6項目データを明示しています。この説明を簡潔にさせていただくことで現状説明も有効なものとなります。

##### 【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

##### ○小項目5.0.1

基盤評価：「理念・目的、教育目標を踏まえ、求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を、学部・研究科ごとに定めていること」「公的な刊行物、ホームページ等によって、学生の受け入れ方針を、受験生を含む社会一般に公表していること」

##### ○小項目5.0.2

基盤評価：「学生募集、入学者選抜の方法が、受験生に対して公正な機会を保障し、かつ大学教育を受けるための能力・適性等を適切に判定するものであること」

##### ○小項目5.0.3

基盤評価：「【学士】学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である（※）」  
(略)

「【学士】学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」  
(略)

「【学士】「【学士】学部における編入学定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」  
(略)

「【修士・博士・専門職学位課程】部局化された大学院研究科や独立大学院などにおいて、在籍学生数比率が1.00である」

##### ○小項目5.0.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、学生の受け入れの適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

##### ○小項目5.0.1～5.0.3

達成度評価：「学生募集、選抜の実施状況等は、公正・適切なものである。（評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のこと明らかであるかに留意する。）

- ・学生の受け入れ方針と、学生募集、選抜の方法等の整合性
- ・学生の受け入れを適切に行うための必要な体制の整備

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

追加記載なし。

☆